

平成30年度
公益財団法人 京都市生涯学習振興財団 事業計画

1 財団の概要

項 目	説 明
設立年月日	昭和56年3月16日 平成22年4月1日 公益財団法人へ移行認定
設立の趣旨と目的 (定款3条)	京都のもつ歴史と文化を生かした生涯学習に関する事業を行い、市民の自発的な学習意欲を喚起して生涯学習の振興を図るとともに、京都市域における教育と文化の発展に寄与する。
基本財産	80,000千円
理事会及び評議員会	理事15名 監事2名 評議員14名
職員数	215名 (平成29年4月1日現在)
業務概要	<p>【財団が事業実施する施設】</p> <p>生涯学習総合センター (京都アスニー, アスニー山科) 2館 図書館 (中央図書館など4中央館と地域館) 18館</p> <p>【財団が実施する事業】 (詳細後述)</p> <p>生涯学習事業 及び図書館事業 その他の事業 … 駐車場運営, 飲料水の販売, コピーサービス等を実施</p>

2 生涯学習総合センター事業の概要

(1) 財団事業

事業名等	説 明
アスニーセミナー	<p>歴史・文化から自然科学まで様々なテーマで、より専門的な内容を学んでいただける、幅広い教養講座として開講。</p> <p>平成29年度から教養講座へのご参加いただける範囲を広げるため、夜間の有料講演会「アスニー・ナイトプログラム」を開講。年1回。</p>
アスニーアトリエ (アスニー山科でも実施)	<p>継続的に取り組んでいただく趣味・実技講座として、ヨガ・健康体操・和裁・茶道・シャンソン・箏曲・よし笛・囲碁・書道・油絵・陶芸・フラワーアレンジメント等、多種多様な内容の講座を開講。</p>

事業名等	説明
<p>アスニーコーラス (アスニー山科でも実施)</p>	<p>歌う楽しさを味わい音楽に親しむことにより、毎日を健康で潤いあるものとするため、初心者から経験者まで、幅広く参加できるコーラスグループを運営。</p> <p>【グループ名 (形態：活動拠点)】</p> <p>ドリームコーラス (女声・混声合唱団：京都アスニー)</p> <p>コール・ウィズユー (女声合唱団：京都アスニー)</p> <p>ラ・コール・デュ・ボア・ジョリ (女声合唱団：京都アスニー)</p> <p>コーラル・オー・トワ・ラヴィ (混声合唱団：アスニー山科)</p> <p>シャンテ・オー・トワ・ラヴィ (歌唱団：アスニー山科)</p> <p>ひかりとともに (女声合唱団：京都アスニー)</p> <p>コール・アスニー (混声合唱団：アスニー山科)</p>
<p>アスニーコンサート</p>	<p>気軽に音楽を楽しむことのできる機会として、京都市交響楽団員をはじめとする一流の音楽家による「アスニーコンサート」を開講。</p> <p>29年度10周年を迎えた。</p> <p>事業の実施にあたっては、趣旨に賛同いただける京都の企業・団体から協賛金を募り運営費に充当。</p> <p>学校教育においても活用いただけるよう、部活動等で音楽活動に励んでいる児童・生徒を対象とした学校団体鑑賞の割引制度も設置。</p>
<p>アスニー京都学講座</p>	<p>京都市内の歴史や文化関係施設等と連携を図り、それぞれの施設の研究者が日頃の研究成果を発表し、市民の学びにつなげる場として、土曜日に受講料無料の講座を開講。</p>
<p>京都通の文化誌 「創造する市民」 の発行</p>	<p>市民の生涯学習のきっかけとなるよう、千玄室所長による対談をはじめアスニーで特に人気の高かった講座の講演録や京都でご活躍の先生方の執筆による寄稿などを掲載。</p>
<p>京都アスニー文化祭 ～学びとふれあいの 広場～ の実施</p>	<p>開館30周年記念事業として実施し、来館者や参加団体に大変好評であったため、以後、学びの輪やすそ野を広げる事業として、毎年3月に開催。</p>
<p>アスニー山科文化祭 の実施</p>	<p>施設利用者を中心に、作品展示・学習成果の発表や体験、また、財団事業講師の作品も一堂に展示し、学びの楽しさを発信すると同時に、交流の場として毎年10月に開催。</p>

事業名等	説明
アスニー山科 開館20周年記念事業 の実施	30年10月に開館20周年を迎えることから、アスニー山科をより一層認知してもらい、生涯学習施設の拠点として多くの皆さんの利用を促すため、記念事業として講演会を実施。
アスニー山科 ギャラリー掲示板の 設置	学校連携事業の一環として、近隣の小中学校の児童・生徒の作品を展示し、あまり利用のなかった子供や保護者などの年齢層の来館を促す。また、日頃アスニー山科で活動されている方々の作品展示などでサークル団体などの活性化を目指す。

(2) 受託事業（京都市からの委託を受けて実施）

事業名等	説明
古典の祭典2018 の開催	<p>古典の祭典は、平成20年11月1日の源氏物語千年紀記念式典における「古典の日」宣言の趣旨を踏まえ、古典の日を中心に、記念講演・伝統芸能の公演・コンサート等を毎年実施。</p> <p>※ 平成24年8月に、11月1日を「古典の日」として法制化。</p> <p>29年度は、有斐斎弘道館館長の濱崎加奈子氏のプロデュースにより、古典芸能「香道」・「能楽」の実演を交えながらの講演会を実施。</p>
京都市平安京創生館 における展示事業	<p>平成20年の「古典の日」宣言を契機とし、平安京を間近に体感し、学習いただける京都市唯一の施設として、平成21年11月1日にリニューアルオープン。</p> <p>平安京の町並みや当時の建造物の復元模型の常設展示のほか、平安貴族装束の着付けが体験できるコーナーを設置。</p> <p>平成28年度に開館10周年を迎え、平安京のくらしや文化により一層の興味・関心を高めてもらえるよう、館内に新たに古代京都の床面マップを設置。</p> <p>平成29年度には、「平安京オーバーレイマップ」の地図を京都盆地にまで広げた「古代の京都～ヤマシロオーバーレイマップ～」も館内で体験可能となった。</p> <p>また、増加する訪日外国人に対応するため、常設展示の解説の英語版の案内板を設置。更には、建都1200年記念事業の一環として制作された「甦る平安京（平安京の復元）」の完全復活も実現予定。</p> <p>平成30年度は、「宮廷社会の食文化」を中心に企画展を開催予定。</p>

事業名等	説明
ゴールドン・エイジ・アカデミー	<p>京都が誇る歴史・文化・文学・伝統芸能等をはじめ、防災・健康・環境など様々なテーマについて、関係機関とも連携しながら各分野の専門家を講師とする講座を通して、市民一人ひとりが自ら学び教養を高める中で、人生をより深く豊かなものとしていくことを目的として開講。</p> <p>平成29年度は、東アジア文化都市2017京都関連事業として、「東アジアと日本」関連の講座や「漢字の話」のシンポジウム等を実施。また、「大政奉還150年」記念関連講座などを、京都市各局と連携して実施。</p> <p>平成30年度は、「明治維新150年」記念関連講座や29年度から続く「シリーズ双京構想」関連講座などを実施予定。大学や公共機関等とも引き続き連携して実施予定。アスニー山科にも同時中継。</p> <p>(定員680名：京都アスニー600名、アスニー山科80名)。</p>
学びのフォーラム山科	<p>市民の方々の学びたい、知りたいと思う気持ちを大切に、文化、歴史、時事問題、健康など幅広い内容の講演を中心に開講。</p> <p>年に1度、コンサート形式の歌唱指導特別回を実施。(定員260名)</p>
視聴覚センター事業	<p>市内の学校や社会教育団体を対象に、無料で、DVD教材、16ミリフィルム、ビデオテープ及び映写機材の貸出を実施。</p>
アスニーこどもコンサート・キッズシネマ	<p>視聴覚フィルムライブラリーに所蔵する子ども向け映画やアニメ作品の上映会を実施。あわせて今年度からは、学校で音楽活動を頑張っている子どもたちの励みとなるよう、年間を通してこどもコンサートを実施。入場無料。月1回、土曜日に実施。</p>
アスニーシネマ (アスニー山科でも実施)	<p>視聴覚センターが保有するDVD等、433タイトルの懐かしの映画の中から参加者からのリクエスト(アンケート調査)を取り入れて上映。入場無料。月1回、土曜日実施。</p> <p>※「アスニー シネマスペシャル」年1回、土日実施。</p> <p>(アスニー山科では、H30に開館20周年を迎えるに当たり、隔月1回の開催を毎月1回、火曜日に実施。)</p>
バリアフリー映画会	<p>「障害者差別解消法」の施行を機に、京都市の生涯学習の拠点として、関係機関の協力を得て、障害のあるなしの垣根を越えて広く一般市民の方に楽しんでいただくために上映。入場無料。年1回。</p>

事業名等	説明
文化庁移転関連事業	文化庁移転を踏まえ、京都の生涯学習の拠点としてだけでなく、「文化首都・京都」にふさわしい文化振興の拠点として、より質の高い生涯学習事業に取り組み、京都ならではの奥深い学びを発信。
その他	① アスニージュニアアトリエやましな ② 視聴覚技術講座 ③ 16ミリ映写技術講習会

【生涯学習事業の参加者数】

区分	27年度	28年度	増△減
京都アスニー (うち平安京創生館入館者数)	163,117人 (78,360人)	166,970人 (86,731人)	3,853人 (8,371人)
アスニー山科	25,131人	26,102人	971人
計 (うち平安京創生館入館者数)	188,248人 (78,360人)	193,072人 (86,731人)	4,824人 (8,371人)

(3) 貸館事業

生涯学習に係る自主的な学習活動のための場を提供。教室形式の研修室や和室、大小の会議室、サークル活動室、ホールなど様々な用途に利用いただける施設を備えている。

とりわけサークル活動室については、防音機能を有し、二足性の部屋であることから常に人気があり、音楽活動や体操・ヨガ等、多様な活用がなされている。

また、平成28年4月施行の障害者差別解消法を契機に導入したヒアリンググループ（補聴器等を利用される方の“聞こえ”を支援する設備）は、貸館利用の際、希望者に貸出を行っている。

<自習室の設置>

平成27年度後期から試行的に開設を始めた自習室については、利用者からの要望が多いため、平成28年度から引き続き、貸館事業において空室が発生した際の設置を通年実施している。

(4) 情報発信

項目	説明
生涯学習情報コーナー (アスニー山科でも実施)	生涯学習の拠点施設として、市民のニーズに応じて幅広く学習いただけるよう、館内に「生涯学習情報コーナー」を設け、京都市及び京都市近郊で行われる講座・講演会、展覧会、演奏会などのイベント情報や施設案内等の情報（ちらし・パンフレット等）を配架。 ホームページ（HP）では、京都市の関係機関や大学・短期大学、博物館・美術館等の文化施設、民間カルチャーセンター等のHPともリンクし、生涯学習に関する様々な情報を紹介。
生涯学習講座のご案内 「まなびすと」の発行	京都アスニー及びアスニー山科で実施する講座・講演会、実技教室、コーラス・イベントの情報や、講演録・寄稿等による事業内容の紹介など、広く市民に情報発信するために発行。

3 図書館事業の概要

館数	18館
	当財団にて事業を受託している4つの中央図書館と14の地域図書館のほか、京都市直営のこどもみらい館子育て図書館・コミュニティプラザ深草図書館・既存の図書館を中心とした半径2km以内に入らない地域を移動図書館「こじか号」が巡回（平成29年12月31日現在 巡回基地41箇所） ^{みやこ} することで、京ライブライリーネットを構築している。
蔵書冊数	190万冊
個人登録者数	43万6千人
入館者数	424万人（1日あたり 14,021人）
貸出人数	239万人（1日あたり 7,935人）
貸出冊数	754万冊（1日あたり 24,988冊）

（※平成28年度の利用状況による）

(1) 利便性向上による一層身近な図書館づくりを目的とする事業

市民に最も身近な生涯学習施設として、図書館を一層活用してもらえるよう、図書館の利便性の向上を図る。

項目	説明
開館日・開館時間等	<p>① 開館日は、火曜日、年末年始（12/29～1/4）及び図書特別整理の期間を除く全ての日（全館共通）</p> <p>② 全館で午前9時30分から開館（閉館時間は館、曜日により異なる）</p> <p>③ 4中央図書館での夏季土曜日の開館時間の延長本格実施（通常17:00閉館のところを7月・8月は19:00まで延長）</p>
隣接自治体との図書館相互利用の実施	<p>図書館サービスの広域的拡充や市民の読書環境の向上を目的に、宇治市、大津市の公立図書館との相互利用を実施。</p>
資料の取寄せ、返却	<p>ブックメールという専用車輛が図書館間を毎日運行しており、市内の図書館であれば、最寄の図書館へ速やかに資料を取り寄せられ、いずれの館でも返却が可能。郵送での返却も可能。</p> <p>その他、京都市外の図書館からも取寄せが可能。（府外からは別途郵送費が必要）</p>
駅などへの返却ポストとブックメール巡回場所の設置	<p>返却ポストについては、地下鉄東西線市役所前駅、地下鉄烏丸線北大路駅、京北自治振興会図書室内に加え、29年度は四條烏丸駅（地下鉄・阪急）に増設。</p> <p>また、京都府立図書館、京都市立芸術大学との連携によりブックメール巡回場所を増設。</p>
あらゆる利用者に対して開かれた図書館を目指す取組	<p>障害者差別解消法対応事業はもとより、高齢者サービス（シニア世代の力を活かした取組やシニア世代をサポートする取組など）や多文化サービス（外国人居住者や外国人観光客に向けた館内表示の検討等）の充実にも取組み、あらゆる利用者に対して開かれた図書館を目指す。</p>

項目	説明
京都市図書館情報網 <small>みやこ</small> 「京・ライブラリー ネット」のシステム 更新による環境改善	～年々増加するインターネット利用への対応～ ① 予約サービス等の利便性向上（予約随時更新） ② 返却期限お知らせメールの配信 ③ ウェブアクセシビリティを重視した図書館ホームページの刷新 （企業のバナー広告の掲載等） ④ システム管理の安全性強化 （セキュリティレベル強化，サーバーの外部設置） ⑤ オンラインデータベース ⑥ Eメールレファレンス ⑦ 座席予約管理システムの導入（右京中央図書館）
京都大百科事典的 図書館機能の充実	京都に関するあらゆる資料の収集，提供。
図書のリサイクル	図書の有効活用を図り，市民の読書活動に資することを目的として， 京都市の図書貸出券を受けた個人に対し， 不用図書の無償譲渡 を実施。
障害のある方への サービス （障害者差別解消法対応事業）	① 在宅貸出制度 ② 特別貸出制度 ③ 音の文庫事業（京都ライトハウスとの連携事業） ④ 視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）への加入 ⑤ 録音資料貸出制度 （テープ図書・DAISY〈デイジー〉図書と再生機） ⑥ 大活字本・点字図書 ⑦ 拡大読書器の更新（4中央図書館） ⑧ 対面朗読 ⑨ ボランティアによる布絵本の製作
郵便による図書等の 予約申込み受付 サービス	インターネット環境のない利用者や事情により図書館に何度も足を運 べない利用者の利便性の向上を図るため，郵便による予約申込みサー ビスを実施。

(2) 読書活動推進事業

「豊かな人生は学びとともにある」という観点から、子ども・若者・高齢者まであらゆる世代の市民だれもが学ぶ喜びを実感し、自ら磨き高めることをサポートする。

項 目	説 明
<p>第3次京都市 「子ども読書活動推進計画」 に基づく学校との 連携事業</p>	<p>京都市では平成16年から「京都市子ども読書活動推進計画」が第1次、第2次と策定され、子どもに読書の楽しさや素晴らしさを伝える取組や読書環境の整備が図られてきた。財団においても、これまで図書館事業の中で、子どもが本と出会い、親しみ、読書習慣を身につけられるよう、取組を行ってきた。</p> <p>平成26年度から、今後5年間を見通した「第3次京都市子ども読書活動推進計画」が策定され、それに基づく取組として、図書館では引き続き次の事業を行う。</p> <p>① 出前事業専用車両「京都市図書館青い鳥号」による学校・園等への出前事業の推進</p> <p>② 中高生の読書活動推進のための取組</p> <p>ア 学校との連携強化</p> <p>イ ティーンズ・コーナーの充実など中高生が利用しやすい雰囲気づくり</p> <p>ウ お薦め図書を紹介したティーンズ向け広報誌を全館で作成</p> <p>エ 中学生への読み聞かせ実技指導</p> <p>オ ビブリオバトルティーンズ大会の実施</p> <p>③ 出前ブックトーク</p> <p>④ 学校団体貸出</p> <p>【参考】京都市の整備事業</p> <p>① 「児童コーナーの整備、充実」 (遮音カーテンの設置・床の防音効果のあるコルクタイルへ張り替え。授乳室の整備など)</p> <p>② 「あんしん・かいてきトイレ事業」(図書館トイレの洋式化を推進)</p> <p>③ 「乳幼児の保護者向け読書ノート」の配布</p>

項 目	説 明
ブックスタート関連事業	① ブックスタートコーナーの設置 ② 赤ちゃん対象行事の定例化 ③ 赤ちゃん絵本読み聞かせボランティア養成講座の実施
学校図書館充実に 向けた支援	教育委員会及び学校との連携のもと、全市の小中学校の図書室について、幅広くその機能の充実を図るための取組を支援。 ① 学校司書を対象とした少人数制ワークショップ型の研修を企画、実施 ② 「調べ学習のための推薦図書リスト」の作成 ③ 学校図書館の図書資料充実に向けた支援
「子ども読書の日」の 取組	平成29年度からは、4月の1ヶ月間を「子ども読書の日」月間と位置づけ、様々な取組を実施。 ① 京都堀川音楽高校との連携による乳幼児とその保護者を対象とした事業の実施「0歳からの絵本コンサート」 ② 子どもの本のブックリサイクル ③ おたのしみ会
「読書週間」記念事業	10月27日（土）から11月9日（金）までの間、主に次の事業を実施。 ① 市庫連との合同講演会 ② ビブリオバトル異世代交流 ③ 読書絵はがき展
文化芸術事業	① 明治150年・京都の奇跡プロジェクト推進事業 特別企画展示等 ② 京都・パリ友情盟約締結60周年記念事業 特別企画展示等 ③ 文化庁移転を踏まえた文化芸術事業の実施
地域全体における 読書活動推進事業	① 読書活動に係る団体（ボランティア・文庫等）を対象とした読み聞かせ講座の実施 ② 地域団体等の協力による事業の企画・実施 ③ 地藏盆等の地域イベントでのブックトークや出前貸出の実施 ④ 地元との連携事業の実施 ⑤ 高齢者施設・病院との連携 ⑥ 協力貸出の実施 ⑦ 保育所との連携による「小さなおはなし会」の実施

(3) 広報

項目	説明
図書館情報誌 「京 <small>きょうと</small> 図ものがたり」 の発行	寄稿文，特集，各館の特色紹介，図書館からのお知らせ，利用者の声などを掲載し，幅広い利用者層の拡大のため情報誌を発行。 (年3回発行)
リーフレット 「いつだって図書館」 の配布	図書館の活用法をビジュアル化し，分かりやすく説明したリーフレットを作成，配布。

(4) その他の取組

項目	説明
図書館ボランティア の養成・導入	毎月ボランティアの募集を行い，各館での研修を実施。
他機関との連携	① 京都府立植物園での出前事業の実施等 ② 市会図書室への図書貸出による支援
図書館実習，研修等 への協力	① インターンシップ等の受入れ（大学，総合支援学校，社会人） ② 立命館大学司書課程カリキュラムへの協力

4 その他の事業の概要

項目	説明
駐車場の運営	京都アスニーの敷地の一部を京都市から賃借し，京都アスニーと中央図書館の来館者等にご利用いただける駐車場の運営を行う。 (料金：施設利用者は30分につき100円，上限1,000円(5時間以上))
その他	① コピーサービス ② 自動販売機による飲料水の販売 ③ レンタルボックスの提供 ④ 市バス回数券等の販売等